

近畿
北陸

地区だより

近畿北陸地区連合会



Vol. 53

平成21年8月31日発行

事務所 〒551-0012 大阪市大正区平尾5-8-13 TEL.06-6551-0565

残暑お見舞い申し上げます

学術講演会総会開催 ご挨拶



平素は近畿北陸連合会の会務に御協力を賜り感謝いたします。さて昨今は地球規模の不況の中にあります。こう云う苦しい時こそ、自己の高揚に励むチャンスではないでしょうか。

去る7月11日学術総会を開催しました処多数の同窓諸兄の参加を頂き誠にありがとうございました。

当番の兵庫支部元村会長をはじめ役員の方の御尽力の賜物であります。

九州歯科大学同窓会 近畿・北陸地区連合会 会長 鳥羽 英紀

兵庫県歯科医師会会長橋本猛伸先生の臨席を戴き、加えて東京医科歯科大学臨床教授菅井敏郎先生の素晴らしいご講演によって大盛会でありましたことを報告させていただきます。

又、この度福井県歯科医師会会長に斉藤愛夫先生(大27期)が就任され、しかも日歯政連理事、日本学校歯科医会理事を任命され、私達同窓会にとっては大変名誉なことであります。斉藤先生におかれましては益々ご活躍頂けることを期待してやみません。

来年は古京都支部が当番にあたっています。ご期待ください。

平成21年度 第54回九州歯科大学同窓会 近畿・北陸地区連合会総会議事録

日時 平成21年7月11日(土)

場所 神戸ポートピアホテル

出席 70名

司会 専務理事 西本達哉

1. 開会のことば 副会長 柴田正孝先生よりいただく
2. 連合会会長挨拶 会長 鳥羽英紀先生のご挨拶に続き、
3. 議長選出では「司会者一任」の声で、当番府県会長の元村太郎先生を指名
4. 議事録署名人には、兵庫県のDr竹森・三島の二名を指名

5. 物故者への黙祷では、元村議長より会員・家族に分けて紹介のうえ黙祷

6. 報告

- 1) 平成20年度事業庶務報告では谷 泰雄庶務担当理事より。
- 2) 評議員会報告では、大阪府同窓会副会長 村尾平三郎先生より
「先の4月19日に大学にて開催され・・・年間予算は800万円以上すくなっている・・・」

7. 議事に入り、

第1号議案について、東 昭平会計担当理事より説明のあと、伊地知 忠監事より古庄 列監事とともに6月28日に詳細に監査し、適正に会計処理されている旨、報告された。また、今回で古庄先生ともどもご勇退される旨、発表された。承認可決。

第2号議案については、谷理事の提案説明のあと、高田学前会長より勇退される伊地知・古庄両



監事に代わり永末勝利先生（兵庫県、大15期）、戸倉 良樹先生（大阪府、大19期）の推薦があり、承認可決された。



第3号議案、第4号議案は、それぞれ谷理事、東理事よりの説明のあと一括にて承認可決された。

その他として、議案ではないが、鳥羽会長より古庄先生は20数年にわたり監事として近畿・北陸地区連合会発展のために寄与された旨、披露された。

8. 協議題

1) 次期当番同窓会府県については、京都府同窓会会長 石田 登先生より「来年は本部役員を迎えての大きな開催となるが・・・」と力強く、担当する旨話された。

2) その他なし

ここで、議長席より元村先生が降りられ、

9. 閉会のことばを副会長 壺坂 久次先生よりいただき、閉会。

暫時休憩の後、学術講演会につづく



学術講演会レポート
近畿・北陸地区連合会

近畿・北陸地区総会に引き続き、東京医科歯科大学臨床教授、銀座UCデンタルインプラントセンター所長の菅井敏郎先生により「インプラント治療のNew Waveーインプラント治療をより安全に行うために知っておきたいことー」というタイトルで講演が行われた。

まず、約40年前に始まったインプラント治療の変遷についての説明にはじまり、審美性と機能性両立のためのプランニングと実践が、最近のシュミレーションソフトや手術支援ツールとともに解説



された。また、以前は骨量の乏しさゆえに、インプラント治療の難症例と診断され、時として適応症から除外されたケースに対し、サイナスリフトやベニアグラフトといった骨造成法を用いて埋入部位を確保する方法や、歯槽頂と下歯槽管が近接する場合のフィクスチャー埋入の工夫などが紹介された。

スクリーンに映し出される映像は、鮮明な動画、アニメーションが効果的に用いられており、1コマに込められた情報量の密度が非常に高く、画面にマッチするBGMとともに受講者の海馬に入り込んだに違いない。

また、今回の講演により、術前診断、治療計画の重要性と、解剖学的事項に裏付けされた、偶発症に対する予見性を高めることの必要性を再認識



させられた。歯牙欠損に際し、インプラント治療という『引出し』を持たないDrにとっても大変有意義な、あっという間の110分であったと思われる。

学術理事 西村則彦（兵庫、大41期）

京 都 府 同 窓 会 だ よ り

暑中お見舞い申し上げます。

例年ならば祇園祭の山鉾巡行が終わりますと、真夏の太陽に照りつけられる京都ですが、今年は毎日のように曇天と激しい雨が続いております。

去る葵祭の翌日の5月16日、京都全日空ホテルにおきまして、平成21年度九州歯科大学京都府支部同窓会

総会が行われました。西川洋一先生(大32)司会のもと、副会長 石田登先生(大22)の開会の辞、会長の小泉博先生(大22)の挨拶と続き、議長に小笹浩之先生(大19)が選出されました。諸議題が順調に審議され、次期会長には石田登先生(大22)が選ばれました。

以下のメンバーで新執行部がスタートいたしました。どうぞよろしくお願ひ致します。

(京都 浦岡知加子記)

兵 庫 県 同 窓 会 だ よ り

本年度より兵庫県同窓会長に就任しました吉位です。今年、満52歳、開業6年目でようやく落ち着いてきたその矢先にこの大役を頂戴いたしました。もとより浅学非才ですが、微力ながら兵庫県同窓会ならびに近畿北陸地区同窓会が益々発展できるように尽力いたす所存です。

さて、「同窓会はどうあるべきか」という話は、どこ同窓会でも絶えることのない議論です。とりわけ、若い方々に多く参加してもらうにはどうすべきかということが第一の問題のようです。兵庫県同窓会も、会員数が100余名と近畿北陸地区では最も大所帯ですが、これまで若い先生方の参加は決して多いとはいえない状況でした。しかし、歴代の会長達は、若い先生が気軽に参加できるような環境作りにも気を配り、関心の高い学術講演

会を企画するなどさまざまな努力をしてこられました。その甲斐あって、最近では若い先生方の参加人数も徐々に増えてきたように感じます。

ところが、逆に先輩諸兄の先生方の参加が少なくなってきたのがさびしいと何人かの方々に指摘をいただきました。昨今の歯科情勢のなか、少々元気のない先生方も少なくないようです。こんな時こそ、先輩諸兄の「元気の出るはなし」で叱咤激励をお願いしたいと思います。

また、女性の先生方にもこれまで以上に多くご参加いただいて、帰るときにはなにかしら満足感のある会になるよう役員の方々とともにさらに創意工夫をしていきたいと考えております。どうか今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願いいたします。

(兵庫県同窓会会長 吉位 尚)

大 阪 府 同 窓 会 だ よ り

今期から本部と同一任期になった近畿・北陸地区連合会が鳥羽英紀(大15)会長で新しく出発することになりました。大阪府所属の会長ということで、連合会には地元から多くの役員が出向されています。本部の副会長には鳥羽会長、理事には谷泰雄(大31)、評議員には岡谷親男(大27)の各先生が就任されました。全面的に新執行部を支えていきたいと考えています。大阪府同窓会も平成21・22年度の新役員会が組織され、会長は山本克彦(大19)が引き続き担当することとなりました。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

さて、最近の個人情報保護の風潮は同窓会の入会や同窓会行事への参加呼びかけなどに暗雲をもたらしかねないようであります。今年度から大学の新生は氏名のみで、出身地や出身校などは公表されないし、卒業生の研修先についても発表されないようです。私達自体で大阪府出身の学生さんや大阪府に進路先を求めた方々の情報収集に努める必要性に迫られそうである。現役学生へのルートは「すかたん会」にご協力をお願いしたり、クラブのOB会などを通じて確保し、同窓会の存在、組織、活動などを情宣したいと考えています。また研修医の行き先である大阪大学、大阪歯科大学、近畿大学などの状況を把握するために在学中の先生にご協力をお願いしたいと思っています。また、大局的立場から適切なご助言

をいただくために今期から浜田傑教授(大26)と丹羽均教授(大32)に相談役をお引き受けいただきました。

学術担当の加藤聡(大33)先生方の企画で、8月8日・22日にユニークな講習会「診療所のホームページをつくろう」を開催し、西本達哉(大28)、東昭平(大38)の両先生を講師に、ホームページ作成専用最新ソフトを使い、「簡単!目立つ!安い!」をテーマに実際にホームページを作っていきます。最終日の懇親会には先に述べた懸念を払拭すべく、現役学生達を招待してビヤホールで盛り上がる予定です。



このような楽しい場を持ちながら、大阪府同窓会は母校の発展を見守る原点を忘れず、ゆるやかだが離れがたい結びつきを感じて、会員皆様の心のよりどころとなるよう願っています。

(大阪府同窓会 会長 山本克彦)

奈良県同窓会だより

先日（7月5日）の全国保険医新聞をお読みになった先生も多いと思いますが、4月18日読売新聞夕刊によると、今年春の全国17の私立歯科大・歯学部のうち11校が定員割れを起し、うち3校は4割以上の欠員を出したとのこと。また廃校・廃学部を検討している大学が4校あるといわれています。若者にとって、歯科医師とは魅力ある職業ではなくなりつつあるそうですが、歯科医師の仕事に魅力がないのではなく、あまりに急激なスピードで歯科医の数を増やしたことが各診療所の経済的圧迫を招き、若者をして歯科医になることをためらわせていることが問題です。歯科医不足が叫ばれてきたとき、多くの歯科大を新設して、歯科医を急速に増やすことで世間の不満をおさめようとした同様の短絡的な

政策が、今また法律家、薬剤師等の世界でも起こっているんです。あれほど賢い日本の官僚が、どうしてまた同じ轍を踏もうとしているんでしょうね？

奈良は最近、先日の近鉄桜井駅での高校生殺人事件など、喜ばしからぬ事件でマスコミを騒がせることが多くなって困ったことですが、そのなかで来年開催される「平城京遷都1300年祭」は少し明るい話題かなと期待しています。県内の各寺院でも普段見せない宝物を公開するなど、いろんな催しが計画されています。近鉄と阪神がつながって、奈良・神戸間が直通で行けるようになったことで、今まで遠い印象だった奈良・神戸間が実になりましたので、神戸近郊の先生も是非この機会に奈良にお出かけください。

（奈良県同窓会会長 水谷 文美）

滋賀県同窓会だより

平成21年6月14日（日）琵琶湖ホテルにて、九州歯科大学滋賀県同窓会、役員会を行いました。天気も良く、琵琶湖の景色が一望できる所でした。

当日、平成21年9月12日（土）に当ホテルで、滋

賀県同窓会総会を開催することに決まりました。当日ホテルの使用する部屋の下見も行き、とても豪華な部屋をリザーブすることができました。

また、今回は福歯大出身の小金沢一美先生に訪問診療について講演して頂く予定です。

（辻 裕文 32期）

北陸支部だより

地球の温暖化傾向がひしひしと感じられますこの頃です。会員の皆様方には、心から暑中のお見舞いを申し上げます。

さて、北陸同窓会前会長の齊藤先生が、本年度から福井県歯科医師会の会長にご就任されましたことを、ここに御報告申し上げます。

他県と同様に、福井県でも我校は最小派閥の一つであります。その中で齊藤先生が県の会長職に就任されましたことは、ひとえに先生のお人柄によるところ大と思われませんが、先生の広くて深い御見識にも、大きな期待が寄せられていることの明確な証であると思われま

時に、今回の快挙は、福井県歯科医師会の中で健全な民主主義が存在することを示すものであり、歯科医療改革を求めるアクティビティの高さを示すものでもあるように思えます。今後は皆様方と共に、希望を持って、地方はもとより中央でも、齊藤先生のご活躍を期待したいと思っています。

一方、足元では、3人の若い先生方が同窓会を脱会されました。

同窓会の意味を改めて考えまして、正すべきは正して、魅力と意義のある同窓会になるべく、力を合わせ努力をしなければならぬと思っています。

皆様方のご支援とご指導をお願い申し上げます。

（北陸同窓会会長 24期 菅野 康幸）

訃報

◆崎田 道臣先生（大阪府、県立3回）
平成20年 7月13日（日）ご逝去されました。

◆小松文孝先生（兵庫県、県立4回）
平成20年12月26日（金）ご逝去されました。

◆秋山 靖先生（京都府、県立4回）
平成21年 7月 8日（水）ご逝去されました。

◆植木 治先生（大阪府、県立6回）
平成20年11月10日（月）ご逝去されました。

◆浅野忠甫先生（京都府、大19期）
平成21年 1月 4日（日）ご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

◇編集後記◇

今年の夏空は異常で京都でもゲリラ豪雨に見舞われました。同窓の皆様は被害はなかったでしょうか？

（京都 西川洋一）

今年の梅雨はなかなか明けませんね。もっとカラッとした夏がほしいですね。皆様ご自愛ください。

（滋賀 中川賢一）

この度、多くの先生から原稿をいただき、無事発行に至りました。誠に有り難く存じます。これからもよろしく願います。

（兵庫 新田典夫）

今は100年に一度の経済危機といわれますが、その影響は甚大で職安には人があふれています。景気回復を祈ってやみません。

（大阪 岡田克也）